

- 2面 千葉県知事へ申し入れ〈関東〉
3面 海の日関連・海事関係功労者の表彰
〈北海道・関東・大阪・名古屋・鹿児島〉
4面 全国の主要港で
FOC・POCキャンペーン

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3095号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)
9月5日
本紙は毎月5・15・25日発行
〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

宇和島運輸株式会社 体験乗船

愛媛県八幡浜市

100人の小学生が「一日海員学校」を体験



8月22日、愛媛県八幡浜港で、本組合主催の体験乗船「一日海員学校」を開催し、愛媛県八幡浜市在住の小学校4年生から6年生までの児童100人が参加したほか、愛媛県立宇和島水産高等学校の教諭と生徒6人がスタッフとして乗船した。この体験乗船は、宇和島運輸株式会社のフェリー「れいめい丸」と「あかつき丸」で、八幡浜港と大分県の別府港を往復し、操舵室や機関室を見学したほか、船の勉強会やロープワーク教室を実施した。

フェリーに乗船、愛媛県・八幡浜港と大分県・別府港を往復

体験乗船「一日海員学校」の開校式は午前9時に始まり、平岡英彦中央執行委員が「船は私たちが生活するうえで重要な役割を担っている。今日一日、実際に船に乗り、普段立ち入ることのできない操舵室や機関室の見学など、船や船員について楽しく学んで、将来船員になりたいという人が出てくることを期待しています」と主催者代表あいさつを述べた。次に体験乗船に協力いただいた松岡正幸宇和島運輸株式会社代表取締役社長と大城一郎八幡浜市長のお二人から、あいさつが述べられた。続いて、来賓の本組合政治参与の菅森実愛媛県議会議員と山崎健吾四国運輸局宇和島海事事務所所長が紹介された。

「れいめい丸」に乗船

開校式が終わると全員が「れいめい丸」に乗船し、子どもたちは班に分かれ出港入港パイ中の機関室を見学。乗組員から機器やエンジンの仕組みなどが説明された。大きな機関室に初めて入り、乗組員から説明を受けた子どもたちからは「エンジンの大きさや音の大きさにびっくりした」など、初めて見る機関室に驚きを見せていた。

機関室見学が終わると「れいめい丸」は大分県の別府港へ向け出港した。航海中の船内では、「れいめい丸」の長嶋良樹船長からあいさつをいただいた後、操舵室見学や船



内探検のほか、船や船員についての勉強会が行われた。船と船員についての勉強会では、清家勉宇和島運輸株式会社職場委員と清水駿愛媛支部長が講師となり、船の役割や船員の仕事などについて、プロジェクトを使っての説明が行われた。



平岡英彦中央執行委員



大城一郎八幡浜市長



長嶋良樹船長



松岡正幸宇和島運輸株式会社代表取締役社長

大分県・別府「うみたま」別府港に到着すると大分マリンパレス水族館「うみたま」に移動し、班ごとに施設を見学した。大きな水槽の中を泳ぐさまざまな魚やイルカショーなどを楽しんだほか、見学途中には、海の生物の勉強会が行われ、水族館スタッフから魚の習性などについて説明あり、子どもたちは普段知ることのできなかった海の生物を楽しく学んだ。

宇和島水産高等学校の生徒たちからロープワークを学ぶ

別府港からの復路は、愛媛県立宇和島水産高等学校の善原武士教諭から愛媛県立宇和島水産高等学校の紹介が行われた後、ロープワーク教室が実施された。

ロープワーク教室では、愛媛県立宇和島水産高等学校の生徒が先生となり、児童に日常生活でも役に立つ本結びや

▽ロープワーク教室で、いろいろな結び方を覚えることができて良かった▽ロープワーク教室で教えてもらった結び方を忘れないようにしたい▽操舵室でリーダーやコンパスなどいろいろな機械を見れてよかった▽機関室はとても暑くて大きな音がしていた▽船のエンジンやいろんな機械を見て、説明を聞いたことが良かった▽はじめて機関室に入れた▽船の人たちがどれだけ大変な仕事をしているかがわかった▽海や船のことをたくさん知ることができてよかった▽水族館で魚のことをたくさん知ることができてよかった▽将来は船員になりたいなど。

子どもたちにとって「一日海員学校」は夏休みの貴重な思い出となった。

巻き結び、もやい結びを教えた。最初は苦戦していた児童も、高校生の優しく教えてくれる教え方で、最後には全員が結び方をマスターしていた。八幡浜港に到着し、多くの保護者が出迎える中、旅客ターミナル1階で、閉校式が行われ、除補修中・四国地方支部長と八幡浜市立神山小学校の菊池貴洋教頭先生からあいさつが述べられ、「一日海員学校」は無事に終了した。

体験乗船の感想アンケート

体験乗船を終えた児童たちからは、今回の体験乗船を通じてのさまざまな感想が寄せられた。

熊谷俊人千葉県知事へ

海運・船員政策の申し入れ

災害時に重要な役割を果たす東京湾フェリー

7月3日、千葉県に、海運・船員の政策課題に関する申し入れを行い、熊谷俊人千葉県知事にご対応いただいた。申し入れには、海員組合関東地方支部の高宮成昭関東地方支部長をはじめ、大滝恒関東地方支部長代行と東京湾フェリー株式会社の高瀬雄一職場委員が出席し、本組合の吉本允政治参与と同行いただいた。

小学生向け
体験航海も
企画



左から大滝恒関東地方支部長代行、高宮成昭関東地方支部長、熊谷俊人千葉県知事、吉本允組合政治参与、高瀬雄一東京湾フェリー職場委員



利用料の減免だけでなく代替船新造への支援を求めた。

また、住民税の個別の減免については、市町村からの申請に基づき適切に対応したいとの見解が示された。最後に数年ぶりの開催を予定している富津市における東京湾フェリーを用いた小学生向けの体験航海企画について協力を要請し、申し入れを終了した。

申し入れでは、はじめに高宮成昭関東地方支部長から熊谷俊人千葉県知事に申し入れ文書を手交するとともに、本組合と全国海友婦人会の諸活動に対する協力について感謝を述べ、申し入れの趣旨を説明した。

次に東京湾フェリーの高瀬雄一職場委員から、横須賀市久里浜港と千葉県金谷港を結

ぶ東京湾横断航路の存続と代替船建造に対する支援を要請した。続いて吉本允組合政治参与から、東京湾に残された最後の航路であり、東京湾フェリーがこれまで千葉県を中心とする地域の産業を支えてきたこと、震災時や大型台風の際に、横須賀への避難に利用された実績などを披歴し、施設

利用料の減免だけでなく代替船新造への支援を求めた。

また、住民税の個別の減免については、市町村からの申請に基づき適切に対応したいとの見解が示された。最後に数年ぶりの開催を予定している富津市における東京湾フェリーを用いた小学生向けの体験航海企画について協力を要請し、申し入れを終了した。

神奈川県・横浜市

横浜開港166周年みなと祭 優良海事関係者表彰式



左から西本健一機関長、高宮成昭関東地方支部長、大道正周船長



横浜港大さん橋国際客船ターミナル(表彰式の会場)



山中竹春横浜市長と記念撮影

7月15日、横浜港大さん橋国際客船ターミナルの大きな橋ホールにおいて、横浜開港166周年みなと祭優良海事関係者表彰式が行われた。船員関係者として、東京汽船株式会社の大道正周船長と西本健一機関長の2人が受賞した。

表彰式の冒頭、表彰状の授与が行われ、港灣エンジニア・船員の各代表に山中竹春横浜市長から表彰状が授与され、船員を代表して西本機関長が登壇した。

続いて、山中市長から今回表彰の対象となった港灣エンジニア40人、船員2人に対し、永年にわたる横浜港への貢献が讃えられた。その後、出席した来賓より祝辞が述べられ、最後に家族を交えて写真撮影が行われ式典は終了した。

東京都



右から二人目が舩山司さん

「海の日式典」
海事関係功労者表彰
7月29日、小樽地方合同庁舎2階大会議室で、令和7年の「海の日」における海事関係者等の表彰式が開催され、船員永年勤続功労表彰が行われた。表彰の伝達および贈呈では、普段は着慣れないスーツに身を包み、緊張した面持ちの中、一人ひとりが北海道運輸局長より表彰状を受け取った。表彰式後、岸本和久船長は、「今回永年勤続表彰を受けることができ大変光栄に思う。これからも漁業にまい進していきたい」と語った。

船員永年勤続功労表彰受賞者
▽小又昌博さん（船長）
▽藤原美樹さん（船長）
▽齋藤昌美さん（通信局長）

国民の祝日「海の日」

全国各地で 海事関係者が表彰

北海道小樽市



左から岸本和久さん、兼田貴行さん、藤原美樹さん

「海の日」
海事関係功労者表彰式典
7月23日に近畿運輸局・大阪海上保安監部との合同による大阪地区の令和7年・海の日の海事関係功労者表彰式典が「ホテルプリムローズ大阪」にて開催された。式典では「本日表彰を受ける皆さまは海事関係のさまざまな分野において顕著な功績を挙げられた方々である。その功績に深く敬意を表すと共に、それを支えてきたご家族に感謝とお祝いを申し上げます」と、近畿運輸局から表彰状が授与されるとともに盛大な拍手が送られた。

近畿運輸局長表彰・船員表彰
▽清岡克也さん（船長）
▽草野一弘さん（司厨長）
《大阪支部Ⅱ発信》

「海の日」
海事功労者表彰式
7月29日、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、令和7年「海の日」海事功労者表彰式が開催された。式典は国土交通大臣の式辞の後、表彰状伝達が行われた。

国土交通大臣表彰優良船員
▽堂園敏己さん（マリックスライン・一等航海士）
九州運輸局長表彰優良船員
▽高峯義宏さん（奄美海運・船長）
▽川村昭仁さん（マルエーフェリー・一等航海士）
受賞者からは「大変名誉ある表彰を受け、感謝している。今後も船員の模範となるように日々の職務ならびに、安全運航・作業に努めていきたい」とのお礼の言葉が語られた。
《鹿児島支部Ⅱ発信》

▽岸本和久さん（船長）
▽兼田貴行さん（一航士）
《北海道地方支部Ⅱ発信》

令和7年
東京港湾功労者表彰式
5月20日、TKPガーデンシティ浜松町で、東京みなと祭協議会主催の令和7年東京港湾功労者表彰式が行われた。今回の表彰式では、東港サービス株式会社の舩山司船長が表彰を受け、永年にわたる勤続の栄誉を讃えられた。式典では、主催者の田中彰東京港湾局長と東京みなと祭り協議会の丸山英聡会長からあいさつが述べられ、小池百合子東京都知事からの感謝状が贈呈された。
《関東地方支部Ⅱ発信》

大阪市



左から堂園敏己さん、川村昭仁さん、高峯義宏さん



草野一弘さん

大阪市

三重県四日市市で
2026年2月1日に
「四日市みなと
ランフェスティバル」

四日市市

「海の日」記念式典

7月31日、四日市商工会議所で、「海の日」海事関係功労者表彰式典が開催された。式典では、2026年2月1日に開催する「第1回四日市みなとランフェスティバル」で四日市と港の魅力を実感できるコースマップが紹介され、海事功労者等表彰では、海洋少年団の活動が評価され、海洋少年団に助成金の贈呈が行われた。
《名古屋支部Ⅱ発信》

鹿児島県

2025年9月5日
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第40期全国委員の資格喪失告示
一、次の者は、規約第47条A項6号により全国委員資格を停止したので告示する。
《地方区・地方単位》
04 関西 上原 颯馬
二、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。
《企業区・企業単位》
113 鹿児島地区組員 山下 隼人

第40期全国委員・補充選挙の告示
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。
一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》
企業単位 113 鹿児島地区組員 1名
二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間 2025年9月5日より
候補者告示 2025年9月14日まで
投票期間 2025年9月15日より
2025年10月14日まで
当選人告示 2025年10月15日（予定）
三、補充選挙の被選挙人
（1）企業区
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組員とする。
四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出する。
五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局（総務部）
以上



FPC・POC対策会議のようす (関西地方支部)

第109次 FOC・POCキャンペーン

全国の主要港で査察訪船



訪船のようす

FOCとは
Flag Of Convenienceの略。税金その他の点で便宜を与えてくれる国で船籍登録した船舶が掲げる登録国の国旗のこと。また、そのような外国に登録された船舶。

FOCの弊害
労働供給国の船員が自国船員に取って代わり、自国船員の雇用縮小を招き、結果として後継者確保が困難になった。

また、ゆるい安全基準や能力不足の船員、メンテナンス不良の船舶設備などが要因と

POCとは
Port Of Convenienceの略。便宜港湾。港湾労働者の労働条件や労働環境がILOの基準以下になっている港のこと。

港湾多国籍企業が、グローバル化や規制緩和などを利用して、コストを削減しようとしている。結果として未組織労働者や期間労働者の活用、船員による荷役作業、低賃金や長時間労働、労働協約の不履行、安全衛生面の質低下などが生じる。

キャンペーンの内容
未組織FOC船に訪船し、船員の月例賃金や時間外労働などが分かる書類の確認、安全点検、船員への聞き込みを行いながら、査察報告書を作成。ITF(国際運輸労連)と連携のもと、労働協約の締結を図る。

全国主要港でFOC・POCキャンペーンを実施
関東地方支部は、7月29日から3日間、港湾労組(東京港湾、港運同盟関東地本、全横浜港湾)と合同で査察活動を実施し、延べ53人により12隻を査察した。

なお、その内、4隻に警告文を提出した。今後も継続して定期的にキャンペーンを実施することにより、船主に対しITF承認協約締結の必要性を認識させる活動に取り組んでいく。

新潟支部・北陸支部
新潟支部と北陸支部は、金沢港では港運同盟(金沢港運

労組、富山港では全港湾伏木支部、新潟港では全港湾日本海地方新潟支部と、それぞれの港で港湾労組と連携し、3日間で延べ14人が参加し6隻を査察した。

安全点検では、荷役従事者の目線から詳細な安全点検を実施したなか、新潟港の貨物船では船倉へ降りる通路ハッチの安全ストッパーの不具合を発見し、船員と港湾労働者の安全に関わる安全上の不備と判断しPSC出動を要請した。

今次キャンペーンで査察した船舶には、ロシア人フル配乗で目新しいタンザニア籍のFOC船、マレーシア人1名と多国籍の船員が乗船するマレーシア籍船など、仕組みの複雑化が感じられた。

引き続き、船員の労働条件

・労働環境の整備のみならず、港湾労組と連携し荷役作業上の安全確保に向けた活動を推進していく。

関西地方支部
7月23日、関西地方支部において、組合本部国際局、関西管内執行部、職場委員、港運同盟兵庫地本・近畿地本、神戸運輸監視部の総勢36人が参加し、関西地区FOC・POC対策会議を行った。

参加者からは、▽査察訪船にて実質船主が分からない場合の対応について▽言葉の壁により、船員との意思疎通が図れないため、英会話集の作成を願いたい▽荷役実施者からPSC出動要請を提出しても良いのではないかなど、意見・質問が出され、活発な意見交換で共通認識を図った。キャンペーンにおいては

は、組合執行部と港運同盟が合同で延べ29人が参加の下、3日間を通して神戸港へ入港中の船舶、計9隻に対して査察訪船を実施した。

キャンペーン期間中は、興徳海運の「CONTRIVIA」の訪船拒否に対し、PSC出動要請を行い、ITF協約未締結のFOC船5隻に対しては、船主と管理会社に警告文を提出した。

安全点検に関しては、比較的船齢が古い船舶でも定期的にメンテナンスされており特に問題はなかった。キャンペーン後の総括では、労働組合の乗船を拒否する会社や船舶に、ITF協約締結に向けた活動と神戸港の安全を維持するためにも、荷役作業に関する安全点検・啓蒙活動に引き続き、港運同盟近畿地本と連携し、取り組んでいくことを確認した。

中四国地方支部
7月29日から3日間、中・四国地方支部管内の各支部合同で広島港と高松港でキャンペーンを実施し、計6隻の査察訪船活動を行った。

今回は興徳海運の「RESOLUTION」と「MAGNA」に査察訪船を試みるも、乗船拒否され、PSCの出動要請を行った。

査察訪船した船舶では安全点検を行うも、異常箇所は見受けられなかった。今次キャンペーン実施に際しては、関係各所の協力のもと、円滑に活動することが出来た。今後も船員の労働条件の改善を目的としたITF協約の締結および安全・安心な労働環境の確保に向け活動を展開する。

九州関門地方支部
北九州港を中心に、九州関門地方支部管内の4支部合同でキャンペーンを実施した。

3日間で計6隻に査察訪船を実施し、ITF承認協約未締結だったFOC船5隻に対し、ITF承認協約の締結を要請する警告文を手渡した。

今次キャンペーンの対象船舶は船齢の新しい船舶が多く、船内環境や設備等で問題点が見受けられた船舶はなかった。キャンペーン終了後、船員の労働環境と港湾の荷役作業に関する安全点検・啓蒙活動に引き続き、取り組んでいくことを確認した。



査察訪船のようす

は、組合執行部と港運同盟が合同で延べ29人が参加の下、3日間を通して神戸港へ入港中の船舶、計9隻に対して査察訪船を実施した。

キャンペーン期間中は、興徳海運の「CONTRIVIA」の訪船拒否に対し、PSC出動要請を行い、ITF協約未締結のFOC船5隻に対しては、船主と管理会社に警告文を提出した。

安全点検に関しては、比較的船齢が古い船舶でも定期的にメンテナンスされており特に問題はなかった。キャンペーン後の総括では、労働組合の乗船を拒否する会社や船舶に、ITF協約締結に向けた活動と神戸港の安全を維持するためにも、荷役作業に関する安全点検・啓蒙活動に引き続き、港運同盟近畿地本と連携し、取り組んでいくことを確認した。

